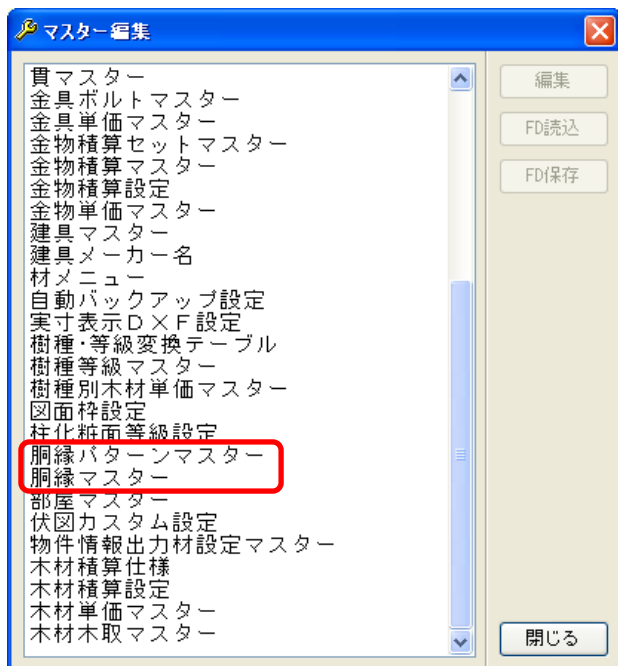


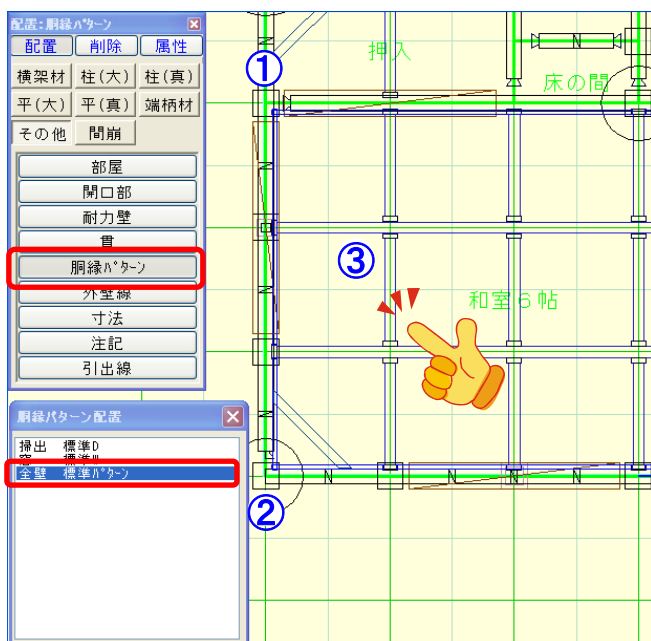
No11 入力 - 6



洞縁を入力するには2通りの入力方法があります。

- ① 洞縁パターンマスターを使用する。
- ② 洞縁マスターを使用する。

※ それぞれマスターが異なります。



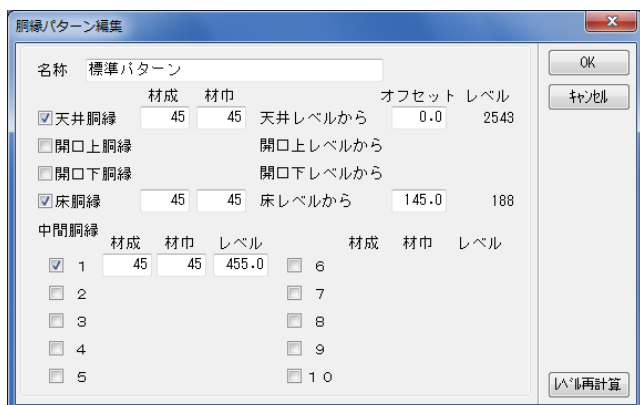
① 洞縁パターンマスターの場合

〔入力 - 要素 - 洞縁パターン〕で配置します。

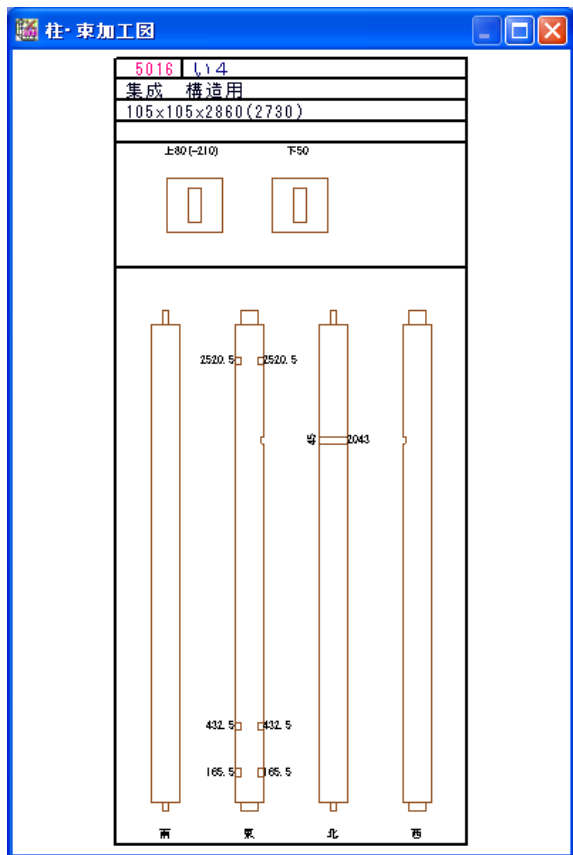
配置は、起点～終点、配置方向の3点ヒットで入力します。

洞縁パターン配置で、洞縁パターンのマスターで設定した名称を選択できます。

洞縁パターン属性で、材の大きさや洞縁本数を変更することができます。

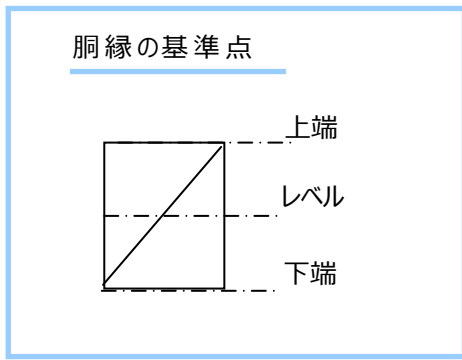


No11 入力 - 6



加工生成の実行で柱に胴縁の欠き込みが入ります。

胴縁の基準点をどこにするかで、柱への表示高さが変わります。



**【設定】**  
 天井高さ : 2500  
 床高さ : 43  
 胴縁 : 45×45

例) 胴縁パターンマスターの設定

胴縁パターンマスター編集より

胴縁	基準点	基準レベル	高さ	オフセット
天井	上端	天井レベル	2520.5	0.0
	<b><math>2500 + 43 - 45 / 2 = 2520.5</math></b>			
中間	上端	レベル	432.5	455
	<b><math>455 - 45 / 2 = 432.5</math></b>			
床	下端	床レベル	165.5	100
	<b><math>100 + 43 + 45 - 45 / 2 = 165.5</math></b>			

柱加工図の胴縁の位置は胴縁パターンマスターで登録している設定により決定されます。  
 ※ 表示されている加工位置は胴縁材の芯の位置で表示されています。

No11 入力 - 6

洞縁パターンマスター追加

パターン名称: 標準パターン

壁タイプ:  全壁  窓  掃出し

OK

キャンセル

材成 材巾

天井洞縁 45 × 45  上端  材芯  下端 天井レベルから 0.0 mm

床洞縁 45 × 45  上端  材芯  下端 床レベルから 100.0 mm

中間洞縁本数: 1

材成 材巾 基準レベル

45 × 45  上端  材芯  下端  レイヤ  床レベル 455.0 mm



洞縁パターンマスターの設定は壁タイプ別に作成します。

部屋属性

入力情報

OK

キャンセル

部屋名: 和室 6帖

分類タイプ: 和室

シャクリタイプ: シャクリなし

**洞縁: 標準マスター**

壁タイプ: 大壁

床レベル: 43.0

天井レベル: 2500.0

廻縁有無:  無  有

個別

オフセット: 0

欠巾: 0

合板貼り:  無  有

部屋面積: 9.93 m<sup>2</sup>

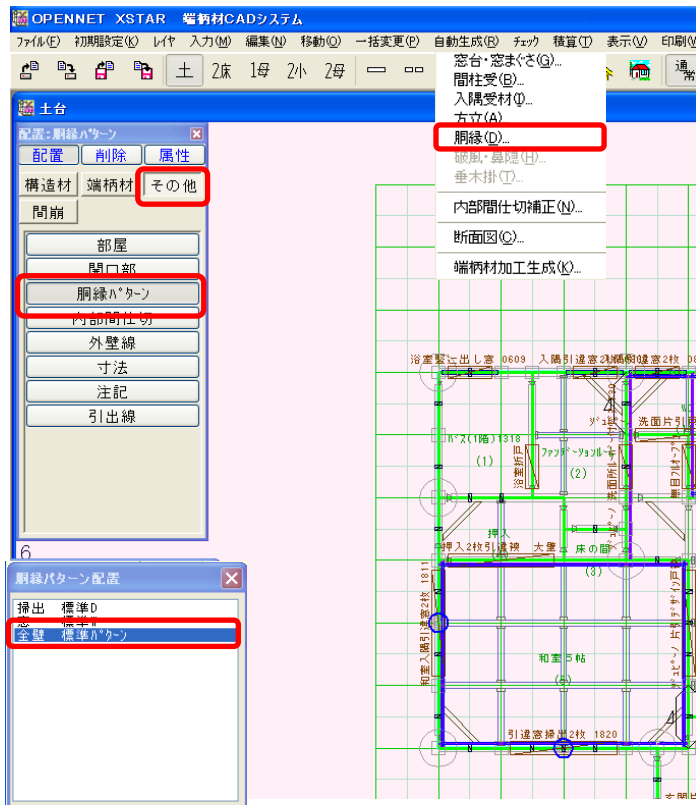
② 洞縁マスターを使用する場合

部屋属性から、洞縁を設定します。  
「洞縁」をクリックすると、洞縁マスターで登録した名称を選択できます。  
洞縁の設定は部屋ごとです。  
加工生成の実行で、柱に洞縁欠きが入ります。



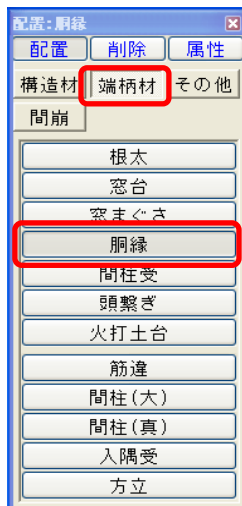
- ※ 軸組 CAD では、柱に洞縁欠きを生成するだけです。
- ※ 洞縁材の生成は、端柄 CAD [自動生成 - 洞縁]で行います。

No11 入力 - 6



端柄CADでの入力

端柄材CADでは、胴縁材を自動生成で生成します。  
 部屋属性に設定した胴縁マスター  
 又は、配置した胴縁パターンに基づいて  
 生成されます。



端柄CADでは、端柄材の項目  
 に胴縁が表示されます。  
 属性で確認できます。